

平成13年度総会

日時 :平成13年5月20日(月)
会場 :東京ベイ有明ワシントンホテル



社団法人

日本超音波医学会

〒113-0033 東京都文京区本郷3-23-1
クロセビア本郷3F

U R L :<http://wwwsoc.nacsis.ac.jp/jsum/>

T E L :03-3813-5540

F A X :03-3816-7644

E-Mail jin-jsum@catnet.ne.jp

平成13年度総会次第

日時：平成13年5月20日(月) 12時10分～13時10分

会場：東京ベイ有明ワシントンホテル

開会		理事長
議長選出		理事長
理事長挨拶		理事長
議題		
1.平成12年度事業報告	(資料1)	庶務担当理事
2.平成12年度収支決算報告	(資料2)	財務担当理事
3.平成12年度収支決算監査報告	(資料3)	監事
4.平成13年度事業計画	(資料4)	庶務担当理事
5.平成13年度収支予算(案)	(資料5)	財務担当理事
6.定款の一部変更	(資料6)	理事長
7.会員の除名	(資料7)	理事長
8.名誉会員推薦	(資料8)	理事長
9.功労会員推薦	(資料8)	理事長
10.その他		理事長
議事録署名人の選出		議長
閉会		議長
名誉会員の表彰		理事長
功労会員の表彰		理事長
第3回特別学会賞表彰		理事長
第15回菊池賞(論文賞)表彰		理事長
第1回技術賞表彰		理事長
第2回奨励賞表彰		理事長

社団法人日本超音波医学会 平成12・13年度役員及び評議員

(自平成12年5月30日 至平成14年度通常総会開催日)

理事長 伊東 紘一
副理事長 跡見 裕 伊東正安
理事 秋本 伸 秋山いわき 遠藤信行 大石 元 岡井 崇 北畠 顕 工藤正俊
里見元義 菅原基晃 千田彰一 棚橋善克 千原國宏 名取 博 羽田勝征
平田經雄 松崎益徳 森安史典

監事 八木晋一 吉川純一

評議員 赤阪隆史 有山 襄 飯島尋子 飯沼一浩 井内 新 石井 誠 石川洋子
石蔵文信 石田秀明 石橋大海 石光敏行 伊藤秀一 伊藤嘉信 入江喬介
岩瀬正嗣 上田光宏 植野 映 上松正朗 宇都宮俊徳 梅村晋一郎 遠藤登喜子
遠藤正章 大江 宏 大木 崇 大熊 潔 大平悦三 大槻茂雄 大村健二
大森浩二 大柳光正 岡 博子 岡崎敬久 小笠原康夫 小澤優樹 小野良樹
小野寺博義 梶谷文彦 春日井博志 加藤保之 金井 浩 金光敬一郎 亀岡信悟
唐沢英偉 川合宏哉 川内章裕 川嶋栄司 神田良一 木田光広 貴田岡正史
木原康樹 工藤信樹 久保光彦 久保田光博 黒肱敏彦 小井戸一光 上妻志郎
國分茂博 小西 豊 小柳左門 税所宏光 西條芳文 斉藤明子 斉藤雅人
斉藤裕輔 酒井輝文 坂口正剛 佐々木 明 佐々木 博 佐藤 裕 真田純一
澤村良勝 椎名 毅 汐崎 陽 地挽隆夫 菅原智子 須藤俊之 住野泰清
須山正文 諏訪道博 瀬尾育弉 高沢謙二 高田悦雄 高橋正一郎 高本真一
高元俊彦 宝田 明 竹内和男 竹内康人 竹中 克 田中幸子 田中伸明
田中正俊 田中康博 谷口信行 田内 潤 千葉喜英 辻本文雄 鄭 忠和
東野英利子 遠田栄一 戸原恵二 中島美智子 中村一彦 中村憲司 中村昌平
中山 淑 名取道也 西村敏博 沼田 功 野崎士郎 秦 幸吉 畠 二郎
秦 利之 蜂屋弘之 林 輝美 林 亨 原 量宏 原田烈光 万代恭嗣
菱田 仁 平井都始子 平井寛則 平田健一郎 平田真美 平間 信 廣岡芳樹
福井 洋 福重淳一郎 福田信夫 藤井謙司 藤田直孝 藤野武彦 藤本真一
二村 貢 別府慎太郎 堀口祐爾 本田伸行 幕内雅敏 真島康雄 増澤信義
益澤 学 増山 理 松田康雄 松谷正一 松中敏行 松元 淳 松本廣嗣
松本正幸 三神大世 水重克文 三谷正信 皆越真一 嶺 喜隆 三原謙郎
三原修一 宮崎豊彦 宮武邦夫 宮本幸夫 森 秀明 森田久樹 安田是和
山雄健次 山口 徹 山越芳樹 山崎延夫 山下裕一 山田博康 山中桓夫
山根隆明 山本克之 山本忠生 山本 宏 横沢 保 吉川義博 吉田 清
米倉修二 林 仁守 林 英宰 渡辺五朗 渡邊精四郎

平成12・13年度日本超音波医学会 各種委員会等名簿

企画委員会

(10名)
委員長 伊松 雅夫
副委員長 東崎 雅夫
幹事 正益 晋一 安徳 毅一
委員 伊松 雅夫 東崎 雅夫 正益 晋一 安徳 毅一 平田 経雄 名取 道也 千原 國宏 棚橋 善克 菅原 基晃 税所 宏光

機器及び安全に関する委員会

(16名)
委員長 遠藤 信行
副委員長 蜂屋 弘之
委員 遠藤 信行 蜂屋 弘之 石原 謙一 名取 道也(機器担当) 名取 道也(安全担当) 梅村 晋一郎 大平 悦三 金井 浩樹 工藤 信樹 関口 隆三 高田 悦雄

編集委員会

(10名)
委員長 名取 博美
副委員長 林 信秀
委員 名取 博美 林 信秀 博美 行明 金井 浩 工藤 正俊 斉藤 雅人 蜂屋 弘之 平井 寛則 宮崎 豊彦

用語・診断基準委員会

(16名)
委員長 岡大 鈴赤竹
副委員長 井石 木松 崇元 真雄 克
委員 岡大 鈴赤竹 井石 木松 崇元 真雄 克 植野 映子 馬木 清隆 川内 章裕 貴田 岡正史 小島 宗門 澤村 良勝 竹内 和男

保険委員会

(11名)
委員長 跡見 裕朗
副委員長 渡辺 五秀
委員 跡見 裕朗 渡辺 五秀 川内 章裕 辻本 文雄 中村 憲司 名取 道也 平井 寛則 平田 経雄 福井 洋

国際交流委員会

(10名)
委員長 松原 益基
副委員長 菅原 石 徳晃 明
委員 松原 益基 菅原 石 徳晃 明 遠藤 登喜子 千田 彰一 竹中 克 田中 伸明 千葉 喜英 万代 恭嗣 別府 慎太郎

教育委員会

(14名)
委員長 北三 秋増
副委員長 島藤 神山 正大 隆信
委員 北三 秋増 島藤 神山 正大 隆信 遠藤 信行 加藤 保之 黒肱 敏彦 澤村 良勝 千田 彰一 竹中 克 秦 利之

超音波専門医制度委員会

(16名)
委員長 千工 藤口 登喜 俊行 子英
副委員長 千工 藤口 登喜 貴田 岡正史 上 妻 志郎 小西 豊 椎名 毅 鈴木 真事 竹内 和男 田中 幸子

顕彰委員会

(16名)
委員長 菅原 秋竹
副委員長 原見 本中 晃義 伸克
委員 菅原 秋竹 原見 本中 晃義 伸克 秋山 いわき 上 妻 志郎 小西 豊 斉藤 明子 斉藤 雅人 椎名 毅 高沢 謙二

超音波検査士制度委員会

(13名)
委員長 秋本 光伸
副委員長 石井 敏行
委員 秋本 光伸 石井 敏行 岩瀬 正嗣 近藤 俊吾 炭 親良 住野 泰清 千葉 裕 辻 祐治 蜂屋 弘之

超音波工学フェ一口一認定審査委員会

(12名)
委員長 遠藤 信行
副委員長 椎名 秋本 敏行
委員 遠藤 信行 椎名 秋本 敏行 梅村 晋一郎 瀬尾 育弉 千田 彰一 中山 淑 蜂屋 弘之 万代 恭嗣 増澤 信義

研究開発促進委員会 (14名)

委員長 棚橋 善克
副委員長 千原 浩
委員・幹事 金子 井 浩 林 輝 美
委員 石原 謙 植 野 映 岡 井 崇
打サ-ハ- 秋山 いわき 伊 東 紘 一 伊 東 正 安 工 藤 正 俊 高 橋 通 子 竹 内 康 人 平 田 經 雄

平成14・15年度選挙管理委員会 (6名)

委員長 羽田 勝 征 竹 内 和 男 谷 口 信 行 名 取 道 也 平 井 寛 則
委員 椎 名 毅

庶務担当理事 (1名)
里見 元 義

財務担当理事 (1名)
秋山 いわき

会員資格担当理事 (2名)
(主) 森 安 史 典
里見 元 義

地方会担当理事 (3名)
(主) 跡見 裕 里見 元 義
秋山 いわき

規約担当理事 (2名)
(主) 羽田 勝 征
千 田 彰 一

インターネット担当理事 (2名)
(主) 伊 東 正 安
秋山 いわき

学術集会担当理事 (3名)
(主) 伊 東 紘 一
秋山 いわき 里見 元 義

日本学術会議第7部担当理事 (1名)
(研究連絡委員) 伊 東 紘 一

日本医学会担当理事 (4名)
(評 議 員) 伊 東 紘 一
(連 絡 委 員) 里 見 元 義
(用 語 委 員) 岡 井 崇
(用 語 代 委 員) 大 石 元

(資料1)

平成12年度事業報告

(自平成12年4月1日 至平成13年3月31日)

会員現況

(平成13年3月31日現在)

会員種別	平成12年3月31日 現在数	平成13年3月31日 現在数	増 減	備 考
名誉会員	14	14	± 0	
功労会員	26	26	± 0	
正 会 員	9,360	9,054	- 306	
準 会 員	4,431	4,591	+ 160	
学生会員	22	16	- 6	
賛助会員	30(87口)	31(90口)	+ 1	
計	13,883	13,732	- 151	

名誉会員(*物故者)

*青柳健次 *加藤金子 *金正 *菊池喜充 *田中憲二 *吉田常雄 *吉岡勝哉
*永山徳次 *岡山益仁 *仁尚 *実吉純一 *林有賀 *古賀和賀 *海老名敏明
*板原克泰 *奥山大太郎 *中島茂道 *安藤渡 *藤三弘決 *井出正男 *尾本良三
(以上28名)

学会誌

1. 本期間において学会誌「Journal of Medical Ultrasonics」第27巻4号から12号、及び「超音波医学」(和文誌)第28巻1号から2号並びに「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第28巻Spring号の計12巻を発行した。
内容は次のとおり

巻号	27- 4	27- 5	27- 6	27- 7	27- 8	27- 9	27-10	27-11	27-12	28- 1	28- 2	28- Spr	
本文ページ数	486	110	88	63	98	68	104	57	72	95	80	41	
主	原著 (Original Research Article)	0 (0)	6 (1)	8 (1)	14 (2)	18 (3)	36 (4)	26 (3)	18 (2)	5 (1)	32 (4)	30 (3)	26 (4)
	症例報告 (Case Report)	0 (0)	26 (4)	18 (3)	20 (3)	14 (2)	6 (1)	8 (1)	10 (2)	12 (2)	0 (0)	0 (0)	10 (2)
な	技術報告 (Technical Note)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
	速報	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)	0 (0)
論	総説	0 (0)	14 (1)	6 (1)	0 (0)								
	LetterstotheEditor	0	0	0	0	2	0	0	0	0	0	0	0
文	Editorial	0	2	2	2	2	2	3	3	2	2	2	1
	Review	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
ベ	Basic Education	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	学術集会プログラム	77	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
I	学術集会抄録	398	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	会告	0	1	2	0	15	12	2	3	2	3	1	0
ジ	研究会報告	0	0	0	0	0	3	3	16	3	26	0	0
	地方会抄録	0	38	0	21	38	0	44	0	11	0	25	0
数	学会ニュース	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3	3
	その他	8	22	49	3	6	6	15	4	45	29	19	1

()内は掲載論文等の数

特別学会賞

第2回特別学会賞は、次の2名に授与された。

- 井出正男(武蔵工業大学名誉教授)
- 田中元直(東北大学名誉教授・東北厚生年金病院名誉院長)

菊池賞(論文賞)

第14回菊池賞(論文賞)は、次の6編の論文に授与された。

- 基礎領域
複合自己相関法による実時間Tissue Elasticity Image26(2)
椎名 毅, 新田尚隆, 植野 映, J.C.Bamber
- 循環器領域
断層心エコー図・実時間左室壁厚自動計測システムの開発と有用性.....26(3)
古本 渉, 水重克文, 平尾健一, 植田 孝, 岩藤泰慶, 大森浩二, 松尾裕英
- 腹部領域
肝硬変に出現する「櫛状エコー」の病理学的検討とその意義.....26(12)
若杉 聡, 大栗茂芳, 平田信人, 関山和彦, 井上和明, 与芝 真, 藤田力也, 寺町貴子,
大野一夫, 大橋真由美, 近藤礼子, 大矢和博
- 総合領域
超音波3次元画像を用いた乳腺腫瘍の抽出と良悪性自動判別に関する研究
-縦横比及び表面積体積指数の臨床的検討-26(12)
尾本きよか, 伊東紘一, 程 相勇, 王 怡, 谷口信行, 秋山いわき, 大塚 紳, 水沼洋文,
小倉重人, 金澤暁太郎

学術集会

第73回学術集会(会長 岡井 崇)は、平成12年5月27日(土)、28日(日)、29日(月)の3日間、パシフィコ横浜を会場として開催した。参加人員2,804名、発表内容は下記のとおり。

第73回学術集会	
一般演題	奨励賞選考口演会 12 動画セッション 82(循環器 18,消化器 40,産婦人科 1,泌尿器 5,体表 11,基礎 7) ポスターセッション 209(循環器 52,消化器 68,産婦人科 18,泌尿器 14,体表 20,基礎 37) 合計 303題
特別講演	1)超音波診断 -50年の歩み-
招請講演	1)New Imaging Technologies for Ultrasonography 2)Vascularity Index -A NovelUltrasoundMethodology forEvaluatingTumor Angiogenesis 3)The Value of 3DVolume Mode Sonogram for Evaluation of BreastCancers
新技術Exposure	1)高速3次元表示法(Vol-mode) 2)リアルタイムWave Intensity計測システム 3)2重しきい値法による心内膜の完全自動描出 4)Second HarmonicComponentによる組織性状評価の考察 5)集束超音波によるがん治療 -Unbalanced Checker法による焦点拡大法の検討 6) Sono CT: Real Time Spatial Compound Imaging Imaging Myocardial PerfusioninReal-Time: A Feasibility Study usingRapid Mechanical Index Switching duringPower Pulse InversionImaging 7)(招請講演)Digitally Encoded Ultrasound 8)(招請講演)Virtual 3D Sonography 9)(招請講演)Expansion andUtilization of Ultrasound Technology in the Coming Decade
メインシンポジウム	1)コントラストエコー 2)「超音波による治療」
シンポジウム	1)消化管疾患の超音波診断 -対外式走査の状況と新たな展開-(消化器) 2)心機能の新しい評価法(循環器) 3)産婦人科領域における3次元超音波(産婦人科) 4)体表超音波における定量化とコンピュータ支援診断(CAD)(体表)
パネル ディスカッション	1)超音波の生体作用 -マイクロバブルと相互作用を中心として-(基礎)
Debateセッション	1)肝腫瘍の良、悪性診断に血流情報は有用か(消化器) 2)左室サイズをどう評価するか(循環器) 3)血流計測による胎児well-being評価 -ディシジョンメイキングに役立つか-(産婦人科) 4)超音波穿刺術における諸問題 -腎・前立腺の生検-(泌尿器) 5)超音波誘導下穿刺は同一面法か(体表)
ランチョンセミナー	1)超音波の新しいアプローチ 2)携帯型デジタル超音波診断装置 Sono Site 180 3)レボピストによる腹部超音波診断 -Perfusion Imagingを中心に- 4)"Levovist"による腹部造影エコー法の最先端 5)3次元超音波 6)New Technology of ContrastEcho Imaging and Intra Cardiac Imaging
市民公開講座	専門医制度を考える
その他	クリニカルカンファレンス 胎児計測標準化小委員会報告 検査士講座 ハンズオンセッション
機器展示	28社

地方会学術集会

1.下記の地方会学術集会が開催された。

a.北海道地方会

第19回 会長 北 島 顕
平成12年7月22日 於：北海道大学医学部臨床大講堂(札幌市) 参加者：146名 演題数：22題
第20回 会長 山本克之
平成13年3月3日 於：北海道厚生年金会館(札幌市) 参加者：217名 演題数：31題

b.東北地方会

第20回 会長 遠藤正章
平成12年9月17日 於：弘前大学医学部コミュニケーションセンター(青森市) 参加者：67名 演題数：19題
第21回 会長 仁田新一
平成13年3月18日 於：民陵会館(仙台市) 参加者：192名 演題数：27題

c.関東甲信越地方会

第12回 会長 林 輝美
平成12年10月14日～15日 於：砂防会館・日本海運倶楽部(千代田区) 参加者：896名 演題数：82題

d.中部地方会

第15回 会長 津田雅之
平成12年12月3日 於：松阪看護専門学校(松阪市) 参加者：325名 演題数：39題

e.関西地方会

第20回 会長 田内 潤

- 平成12年9月23日 於：千里ライフサイエンスセンター(大阪市) 参加者：892名 演題数：122題
 第21回 会長 加藤保之
 平成13年2月10日 於：大阪国際交流会館(大阪市) 参加者：850名 演題数：110題
- f. 中国地方会
 第36回 会長 佐野俊二
 平成12年9月2日 於：岡山三光荘(岡山市) 参加者：159名 演題数：27題
- g. 四国地方会
 第10回 会長 平田真美
 平成12年11月25日 於：松山市総合コミュニティーセンター(松山市) 参加者：198名 演題数：51題
- h. 九州地方会
 第10回 会長 辻裕治
 平成12年9月3日 於：アクロス福岡(福岡市) 参加者：569名 演題数：48題

規約等の改正・制定等

1. 変更
 - (1) 定款(昭和62年6月15日制定)(平成12年10月18日変更)
2. 改正
 - (1) 会員資格審査規則(平成12年4月28日改正)
 - (2) 職員就業規則(平成12年9月22日改正)
 - (3) 学術集会実行委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (4) 編集委員会規程(平成12年9月22日改正)
 - (5) 超音波指導医の委嘱に関する内規(平成12年9月22日改正)
 - (6) 超音波専門医資格更新実施内規(平成12年9月22日改正)
 - (7) 超音波指導医の推薦に関する申合せ(平成12年9月22日理事会改正)
 - (8) 用語・診断基準委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (9) 企画委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (10) 規約規程(平成12年4月28日改正)
 - (11) 国際交流委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (12) 保険委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (13) 教育委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (14) 財務規程(平成12年4月28日改正)
 - (15) 地方会規程(平成13年1月19日改正)
 - (16) 機器及び安全に関する委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (17) インターネット規程(平成12年4月28日改正)
 - (18) 顕彰委員会規程(平成12年4月28日改正)
 - (19) 超音波工学フェロー認定審査委員会規程(平成12年4月28日改正)
3. 制定
 - (1) 超音波専門医資格更新に係るICカードの取扱いに関する申合せ(平成12年4月28日理事会承認)
 - (2) 技術賞選考内規(平成12年4月28日制定)
 - (3) 研究開発促進委員会規程(平成13年1月19日改正)
 - (4) 基本財産の基金から生ずる利子の運用に関する申合せ(平成12年11月24日理事会承認)
 - (5) 研究開発班設置要領(平成13年1月19日理事会承認)

講習会及び専門医・検査士セミナー

1. 超音波診断法講習会
 - 第88回 世話人 畠 二郎
平成12年4月15日 於：JAビル(広島県) 参加者 98名
 - 第89回 世話人 堀口祐爾
平成12年9月3日 於：名古屋国際会議場(愛知県) 参加者177名
 - 第90回 世話人 斎藤豊彦
平成13年2月18日 於：パシフィコ横浜(神奈川県) 参加者121名
2. 専門医・検査士セミナー
 - 第18回
平成12年5月28日 於：パシフィコ横浜(神奈川県) 参加者378名

研究会及び学術講演会

1. 下記の研究会が活動した。
 - a. 基礎技術研究会

代表者：秋山いわき
 幹事：梅村晋一郎，大矢晃久，金井 浩，神山直久，カソ スタント，工藤信樹，椎名 毅，炭 親良，
 竹内康人，竹中 克，谷口信行，千原國宏，蜂屋弘之，原田烈光，山越芳樹

第1回 / 平成12年5月20日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：21名 発表件数：6件
 第2回 / 平成12年9月4日 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都) 参加者：48名 発表件数：8件
 特別開催
 第3回 / 平成12年10月16日 於：千葉大学(千葉県) 参加者：17名 発表件数：6件
 電子情報通信学会超音波研究会と共催
 第4回 / 平成12年12月2日 於：鹿児島大学(鹿児島県) 参加者：16名 発表件数：9件
 日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催
 第5回 / 平成13年3月24日 於：上智大学(東京都) 参加者：23名 発表件数：5件
2. 学術講演会は開催されなかった。

各種委員会等報告

1. 企画委員会(委員長 伊東正安)
 21世紀に向けて、本学会が目指した「超音波医学」アクションプランに基づき、新設された「研究開発促進委員会」の事業に対し、会員の研究の援助体制及び先端超音波技術の開発等の施策に助言を与えた。
2. 機器及び安全に関する委員会(委員長 遠藤信行)
 - a. アメリカやヨーロッパ等、諸外国における「超音波診断装置の安全性」に関する現状での規制等の調査を行った。
 - b. 「超音波の安全性」についての啓蒙活動の活動方針に関する検討を行った。
 - c. DICOM規格に関する検討を行った。
3. 編集委員会(委員長 名取 博)

学会誌「Journal of Medical Ultrasonics」第27巻4号から12号、及び「超音波医学」(和文誌)第28巻1号から2号並びに「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第28巻Spring号の計12巻を発行した。(項参照)

4. 用語・診断基準委員会(委員長 岡井 崇)
 - a. 医用超音波用語集改訂作業
 - 1) 各領域の小委員会を設置した。
 - 2) 各小委員会にて収載済の用語の見直し、及び新しく収録すべき用語の検討を開始した。
 - 3) 収載済の用語の見直し、及び新しく収録すべき用語につき、会員から意見を聴取するための公示を学会誌に掲載した。(超音波医学第27巻10号掲載)
 - 4) 用語集改訂版の編集方針を検討した。
 - b. 超音波診断基準の作製
 - 1) 「胎児計測のと基準値」の最終案を作製した。
 - 2) 「胆嚢癌の超音波診断基準」を検討した。
 - 3) 「縦隔腫瘍の超音波診断基準」(案)を検討した。
 - 4) 「乳腺・甲状腺疾患の超音波診断基準」(案)の作製に向けて検討を開始した。
 - 5) 「循環器疾患の超音波診断基準」(案)の作製に向けて検討を開始した。
 - c. 診断基準の維持・管理について検討し、取り上げるべき方向を策定した。
 - 1) 診断基準の改訂について担当者を選定した。
 - 2) 用語との関係の調整の担当者を選定した。
 - 3) 癌取扱規則との関係の調整の必要性を確認した。
 - 4) 診断基準の診断能の評価について方向性を模索した。
 - d. 用語・診断基準について学会ホームページへの掲載について検討した。
 - e. 用語・診断基準について会員等からの意見の収集と整理を行った。
 - f. 機器及び安全に関する委員会と連携して、DICOM規格による症例データのCD-ROMを作成し、配布した。
5. 保険委員会(委員長 跡見 裕)
 - a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定及び新規適用項目を取りまとめて、要望書を提出した。
 - b. 他学会及び関係団体との情報交換を行った。
 - c. 会員等から保険診療の査定方針等の意見の収集と整理を行った。
6. 国際交流委員会(委員長 松崎 益徳)
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係
「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して下記の活動を行った。
 - 1) 2000年度超音波医学会Fellowship研修生を選考の上、3名の研修を実施した。
 - 2) 今後の検討課題について、委員会を開催して検討を行った。
 - b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)関係
2000年にフローレンス(イタリア)にて開催された第9回WFUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
 - c. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)関係
2001年にクワラルンポール(マレーシア)にて開催される第6回AFSUMB大会に学術、広報などの面で協力した。
7. 教育委員会(委員長 北島 颯)
 - a. 一般会員あるいは初心者を含む非会員等に対し幅広く、資質維持や啓蒙に役立つ適切な研修の機会を提供するため、下記の事業を行った。
 - 1) 第18回超音波専門医・検査士セミナーの実施(項参照)
 - 2) 第88回から第90回までの超音波診断法講習会の実施(項参照)
なお、平成13年度からは、超音波診断法講習会を各地方会で開催することとなった。
 - b. 卒前・卒後の教育カリキュラムについての検討を行った。
8. 超音波専門医制度委員会(委員長 千田 彰一)
 - a. 第10回超音波専門医認定試験を実施し、合格者53名に対して専門医の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて平成12年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第27巻8号)
 - b. 第6回超音波専門医資格更新を実施し、更新者479名、猶予・保留者31名の認定、及び登録を行い、学会誌に公示し、併せて更新者へは平成12年10月1日付で超音波専門医認定証を交付した。(超音波医学第27巻11号)
 - c. 平成12年度超音波指導医の認定審査を行い、学会誌に公示し、併せて平成12年12月1日付で超音波指導医認定証を交付し、委嘱した。(超音波医学第27巻12号)
 - d. 平成13年1月1日現在での超音波指導医・所属施設別一覧を公示した。(超音波医学第27巻12号)
 - e. 平成13年度研修施設の選定審査を行い、新規14施設、更新75施設を指定して、学会誌に公示し、併せて平成13年4月1日付で認定証を交付する。(超音波医学第28巻3号)
 - d. 専門医資格更新を簡素化するため、新たにICカードを用いたシステムを構築し、平成12年4月1日より実施した。
 - g. 第11回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し、同認定試験実施に関する会告を公示した。(超音波医学第27巻12号)
 - h. 第7回超音波専門医更新に関する会告を公示した。(超音波医学第28巻1号)
 - i. 超音波専門医制度の改革を審議した。
 - 1) ワーキンググループ(専門医関連文書の整備/生涯教育関係/資格更新簡素化/試験問題関係/指導医関係)を設置して、それぞれについて、改革及び整備の審議を行った。
 - 2) 本制度に関わる諸文書の様式整備を促進した。
 - 3) 超音波指導医候補者推薦方法の改革を行った。
 - j. 超音波専門医制度の普及・充実に図った。
 - 1) 「専門医取得のための超音波医学研修手帳」の頒布拡大の広報活動を行った。
 - 2) 「超音波専門医認定試験問題集」(新訂第3版)を発行した。
 - 3) 超音波指導医の後進育成促進を啓蒙した。
 - k. 学会認定制協議会、第37回、及び第38回総会に出席した。
9. 顕彰委員会(委員長 菅原 基晃)
 - a. 第14回菊地賞(論文賞)の選考を行い、4編を授賞した。
 - b. 第2回特別学会賞の選考を行い、2名を授賞した。
 - c. 第1回奨励賞の選考を行い、6名を授賞した。
 - d. 技術賞選考委員会を組織し、第1回技術賞の募集を行った。
10. 超音波検査士制度委員会(委員長 秋本 伸)
 - a. 第16回超音波検査士認定試験を実施し、合格者758名を学会誌に掲載した。(超音波医学第28巻4号)
 - b. 2001年超音波検査士資格更新を実施し、更新者404名を学会誌に掲載した。(超音波医学第28巻5号)
 - c. 超音波医学研修ガイドライン1999年版の改訂作業を行い、2000年版を発行した。
11. 超音波工学フェロー認定審査委員会(委員長 遠藤 信行)
 - a. 第2回超音波工学フェローの認定審査の結果、該当者がなかった。
 - b. 第3回超音波工学フェローの公募を行った。
 - c. 超音波工学フェロー資格更新に関する検討を行った。
12. 研究開発促進委員会(委員長 棚橋 善克)
 - a. 委員会の運営を円滑に図るために委員会規程を作成した。
 - b. 研究開発の具体策として、「研究班」を設置することとし、その実施要領を作成した。
 - c. 第1回研究開発班設置申請の公募を学会誌にて行い、厳正に審査した結果、4件の研究班の設置を認可した。

- d.2000年度は基礎技術研究会を5回開催し、合計34件の発表があった。(項参照)
なお、発表の資料は印刷して基礎技術研究会資料として配布した。
13. 会員資格審査関係(担当理事(主) 森安史典)
会員の取扱規則に従い、会員資格に関する下記認定の審査を行った。
1) 新入会希望者及び退会希望者の審査
2) 除名該当者の審査
3) 会員種別変更希望者の審査
4) 休会希望者の審査
5) 除名対象者の審査
14. 学術集会関係(担当理事(主) 伊東 紘一)
a. 「学術集會會長選考内規」に基づき、第76回学術集會會長候補者について、役員及び評議員宛に推薦依頼を行い、それに基づき候補者を理事会で決定した。
15. 地方会運営委員長会議(担当理事(主) 跡見 裕)
a. 各地方会運営委員長会議を開催した。
b. 教育委員会から移行(平成13年度以降)された超音波診断法講習会企画を各地方会学術集會に設けることについての検討を行った。
16. 規約関係(担当理事(主) 羽田 勝征)
a. 平成12年10月18日付で本会の定款の変更について、文部大臣から承認された。
b. 本会規約等の改正及び制定を行った。(項参照)
17. インターネット関係(担当理事(主) 伊東 正安)
a. ホームページwwwサーバーを学会事務局へ移管した。
b. 他学会とのホームページのリンクを行った。
c. 各種委員会等の広報を行った。
d. 学会事業の開催案内(学術集會・地方会・研究会・講習会・認定試験)を行った。
- .日本医学会関係(担当理事 伊東 紘一)
1. 第68回日本医学会定例評議員会に参加した。
2. 日本医学会シンポジウムに協力した。
- .日本学術会議関係(担当理事 伊東 紘一)
1. 第9回アジア学術会議に協力した。
2. 日本学術会議協力財団の実施するアジア学術交流促進事業に協力した。
3. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加した。

平成 1 2 年度 収 支 計 算 書

平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

収入の部

(単位：円)

科	目	予 算 額	決 算 額	差 額
基本財産運用収入	基本財産利息収入	250,000	85,500	164,500
会費収入		159,663,000	162,710,000	3,047,000
	正会員会費	(112,996,000)	(114,023,500)	(1,027,500)
	準会員会費	(42,990,000)	(44,891,500)	(1,901,500)
	学生会員会費	(77,000)	(35,000)	(42,000)
	賛助会員会費	(3,600,000)	(3,760,000)	(160,000)
入会金収入		1,340,000	1,160,500	179,500
広告収入	学会誌	4,400,000	4,842,204	442,204
学術集会収入		72,000,000	72,305,690	305,690
	参加費収入	(30,140,000)	(37,745,690)	(7,605,690)
	展示収入	(41,860,000)	(34,560,000)	(7,300,000)
学会誌別刷収入		1,160,000	632,500	527,500
WFUMB会誌収入		2,300,000	2,020,000	280,000
専門医制度関係収入		3,995,000	8,514,500	4,519,500
	認定試験	(2,600,000)	(2,060,000)	(540,000)
	更新認定料	(640,000)	(4,636,000)	(3,996,000)
	資料頒布料	(755,000)	(1,818,500)	(1,063,500)
検査士制度関係収入		21,935,000	25,588,000	3,653,000
	認定試験	(20,250,000)	(23,450,000)	(3,200,000)
	更新認定料	(1,485,000)	(2,070,000)	(585,000)
	資料頒布料	(200,000)	(68,000)	(132,000)
教育関係収入		5,280,000	6,099,000	819,000
	講習会収入	(4,680,000)	(5,343,000)	(663,000)
	専門医・検査士セミナー収入	(600,000)	(756,000)	(156,000)
雑収入		3,500,000	1,726,315	1,773,685
受取利息		800,000	493,514	306,486
当 期 収 入 合 計 (A)		276,623,000	286,177,723	9,554,723
前期繰越収支差額		0	45,505,439	45,505,439
収 入 合 計 (B)		276,623,000	331,683,162	55,060,162

支出の部

(単位:円)

科 目		予 算 額	決 算 額	差 額
事業費	学会誌経費	71,690,000	58,609,427	13,080,573
	出版費	(44,850,000)	(35,136,543)	(9,713,457)
	発送経費	(23,640,000)	(20,179,646)	(3,460,354)
	編集委員会費	(1,300,000)	(1,660,090)	(360,090)
	英文校正費	(1,300,000)	(1,054,778)	(245,222)
	査読通信費	(600,000)	(578,370)	(21,630)
	国際交流関係費	7,340,000	6,712,138	627,862
	委員会費	(300,000)	(56,274)	(243,726)
	奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	(0)
	AFSUMB分担金	(3,440,000)	(3,055,864)	(384,136)
	WFUMB機関誌代	2,260,000	2,381,878	121,878
	学術集会関係費	72,590,000	69,016,091	3,573,909
	学術集会経費	(72,250,000)	(68,976,687)	(3,273,313)
	学術集会委員会費	(340,000)	(39,404)	(300,596)
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	0
	委員会等費	5,920,000	3,441,448	2,478,552
	地方会関係費	14,000,000	13,381,238	618,762
	研究開発促進委員会費	700,000	2,275,814	1,575,814
	研究開発促進委員会費	(0)	(1,575,814)	(1,575,814)
	研究会関係費	(700,000)	(700,000)	(0)
	専門医制度委員会費	14,320,000	14,288,521	31,479
	専門医認定関係費	(3,190,000)	(2,326,590)	(863,410)
	専門医制度委員会費	(8,830,000)	(10,025,978)	(1,195,978)
	頒布資料印刷費	(2,300,000)	(1,935,953)	(364,047)
	検査士制度委員会費	10,870,000	10,070,621	799,379
	検査士認定関係費	(9,520,000)	(8,553,457)	(966,543)
	検査士制度委員会費	(1,200,000)	(1,517,164)	(317,164)
	頒布資料印刷費	(150,000)	(0)	(150,000)
	教育委員会費	7,050,000	9,531,932	2,481,932
	講習会経費	(5,950,000)	(8,720,231)	(2,770,231)
	専門医・検査士セミナー	(410,000)	(427,901)	(17,901)
	教育委員会費	(590,000)	(383,800)	(206,200)
	生涯教育費	(100,000)	(0)	(100,000)
	顕彰委員会関係費	4,800,000	4,535,202	264,798
事業費計		213,540,000	196,244,310	17,295,690
事務費	人件費	30,890,000	33,274,004	2,384,004
	会計顧問料	500,000	500,000	0
	福利厚生費	650,000	607,030	42,970
	法定福利費	3,120,000	3,557,386	437,386
	職員交通費	1,490,000	1,587,980	97,980
	事務所賃借料	8,140,000	8,132,652	7,348
	事務用機器賃借料	620,000	627,480	7,480
	備品費	500,000	484,330	15,670
	文具消耗品費	700,000	846,288	146,288
	光熱水料	750,000	726,293	23,707
	事務OA化費	2,160,000	1,001,993	1,158,007
	会議費	3,200,000	3,561,981	361,981
	印刷費	1,750,000	1,459,289	290,711
	通信費	4,000,000	4,210,725	210,725
	公租公課	1,320,000	1,364,000	44,000
	雑費	700,000	1,186,277	486,277
	払込手数料	1,340,000	1,231,375	108,625
	選挙関係費	100,000	46,214	53,786
事務費計		61,930,000	64,405,297	2,475,297
特定預金支出	退職給与引当預金支出	653,000	653,000	0
予備費		500,000	0	500,000
当期支出合計(C)		276,623,000	261,302,607	15,320,393
当期収支差額(A)-(C)		0	24,875,116	24,875,116
次期繰越収支差額(B)-(C)		0	70,380,555	70,380,555

正味財産増減計算書
平成12年4月1日から平成13年3月31日まで

(単位：円)

科 目	金 額		
増加の部			
1 資産増加額			
当期収支差額	24,875,116		
退職給与引当預金増加額	653,000		
		25,528,116	
2 負債減少額		0	
増加額合計			25,528,116
減少の部			
1 資産減少額		0	
2 負債増加額			
退職給与引当金繰入額	1,639,500		
		1,639,500	
減少額合計			1,639,500
当期正味財産増加額			23,888,616
前期繰越正味財産額			316,489,549
期末正味財産額合計			340,378,165

貸 借 対 照 表
平成13年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額	
資産の部		
1 流動資産		
現金預金	62,681,672	
郵便振替	113,006,866	
前払金	2,296,450	
未収入金	585,264	
流動資産合計		178,570,252
2 固定資産		
1) 基本財産		
投資有価証券	36,000,000	
基本財産合計	36,000,000	
2) その他の固定資産		
退職給与引当預金	5,736,010	
減価償却引当預金	2,500,000	
国際交流積立預金	4,500,000	
名簿刊行積立預金	10,000,000	
選挙関係費積立預金	2,000,000	
事務所整備積立預金	84,000,000	
学術奨励積立預金	115,500,000	
電話加入権	192,800	
家屋賃貸借契約敷金	16,384,500	
その他の固定資産合計	240,813,310	
固定資産合計		276,813,310
資 産 合 計		455,383,562
負債の部		
1 流動負債		
前受金	104,947,000	
仮受金	1,919,000	
未払金	1,217,060	
預り金	106,637	
流動負債合計		108,189,697
2 固定負債		
退職給与引当金	6,815,700	
固定負債合計		6,815,700
負 債 合 計		115,005,397
正味財産の部		
正味財産		340,378,165
(うち基本金)		(36,000,000)
(うち当期正味財産増加額)		(23,888,616)
負債及び正味財産合計		455,383,562

計 算 書 類 に 対 す る 注 記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法について
個別法に基づく原価基準である。
 - (2) 退職給与引当金の計上基準
職員が自己都合により退職した場合に対する退職金の100%相当額を計上している。
 - (3) 資金の範囲
資金の範囲は、現金預金、前払金、仮払金、未収入金、前受金、仮受金、未払金および預り金を含めている。
なお、前期末及び当期末残高は、下記4に記載のとおりである。
 - (4) 消費税の会計処理について
消費税の会計処理は、税込み方式によっている。
2. 基本財産の増減はない。
3. 担保に供している資産はない。
4. 次期繰越収支差額の内容は次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前 期 末 残 高	当 期 末 残 高
現金預金	158,084,128	175,688,538
前払金	2,308,100	2,296,450
仮払金	5,000,000	0
未収入金	1,341,130	585,264
合 計	166,733,358	178,570,252
前受金	114,076,000	104,947,000
仮受金	2,455,500	1,919,000
未払金	4,577,341	1,217,060
預り金	119,078	106,637
合 計	121,227,919	108,189,697
次期繰越収支差額	45,505,439	70,380,555

5. 保証債務はない。

財 産 目 録

平成13年3月31日現在

(単位：円)

科 目	金 額
資産の部	
1 流動資産	
現金手許有高	189,240
あさひ銀行本郷支店	62,492,432
東京00130-8-93294	113,006,866
第74回学会集会補助金	2,000,000
" 第11回専門医認定試験会場借料ほか	296,450
未収入金 学会誌(Vol.27-11)以降広告料	540,000
" 学会誌(Vol.27-11)以降別刷料ほか	45,264
流動資産合計	178,570,252
2 固定資産	
1) 基本財産	
投資有価証券 中央三井信託銀行日本橋営業部 貸付信託	36,000,000
基本財産合計	36,000,000
2) その他の固定資産	
退職給与引当預金 あさひ銀行本郷支店 定期預金	5,736,010
減価償却引当預金 "	2,500,000
国際交流積立預金 "	4,500,000
名簿刊行積立預金 "	10,000,000
選挙関係費積立預金 "	2,000,000
事務所整備積立預金 "	84,000,000
学術奨励積立預金 "	85,500,000
" 中央三井信託銀行日本橋営業部 "	30,000,000
電話加入権 3813-5540,5804-8410	192,800
敷金 (有)クロセピアビル	16,384,500
その他の固定資産合計	240,813,310
固定資産合計	276,813,310
資産合計	455,383,562
負債の部	
1 流動負債	
前受会費 平成13年度以降分会費	103,377,000
前受WFUMB 平成13年度WFUMB購読料	1,570,000
会費仮受金 入会未承認新入会員入金分	1,919,000
未払金 委員会会議費	442,060
" 平成12年度消費税	775,000
預り金 平成12年度分雇用保険料	106,637
流動負債合計	108,189,697
2 固定負債	
退職給与引当金	6,815,700
固定負債合計	6,815,700
負債合計	115,005,397
正味財産	340,378,165

平成12年度収支決算監査報告

平成12年度収支決算について、監査をおこなったところ、適正な経理が行われたことを認めます。

平成13年4月23日

社団法人日本超音波医学会

監事 吉川 純 

監事 八木 晋 

監 査 報 告 書

社団法人日本超音波医学会
理事長 伊東 紘一 殿

平成 13 年 4 月 23 日
八重洲監査法人
代表社員・関与社員
公認会計士

稲葉 惠一 

関 与 社 員
公 認 会 計 士

馬目利昭 

当監査法人は、社団法人日本超音波医学会のここに掲げられている平成12年4月1日から平成13年3月31日までの平成12年度事業年度の計算書類、すなわち収支計算書、正味財産増減計算書、貸借対照表及び財産目録について監査を行った。

この監査に当たって、当監査法人は、一般に公正妥当と認められる監査基準に準拠して通常実施すべき監査手続を実施した。

監査の結果、上記の計算書類は、一般に公正妥当と認められる公益法人会計の基準及び定款に従い、社団法人日本超音波医学会の平成13年3月31日現在の財産の状態及び同日をもって終了する事業年度の収支の状況を正しく示しているものと認める。

社団法人日本超音波医学会と当監査法人又は関与社員との間には、公認会計士法の規定により記載すべき利害関係はない。

以上

(資料4)

平成13年度事業計画

(自平成13年4月1日 至平成14年3月31日)

平成13年度における本会の事業計画は次のとおりである。

.学会誌の発行

「超音波医学」(和文誌)第28巻3号から7号と第29巻1号から2号、及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第28巻Summer号・Autumn号・Winter号と第29巻Spring号までの計11号を発行し、会員に配付する。

.学術集会

1.学術集会を下記のとおり年1回開催し、講演抄録は学会誌として発行する。

第74回学術集会 (会長 伊東正安)

平成13年5月19日～21日 於：東京ビッグサイト(東京都)

なお、同学術集会において超音波医用機器展示会を併催する。

以降の予定

第75回学術集会 (会長 千田彰一)

平成14年6月1日～3日 於：香川県民ホール他(香川県)

第76回学術集会 (会長 名取博)

平成15年5月8日～10日 於：北海道厚生年金会館他(北海道)

.地方会学術集会

下記の地方会の開催を予定している。

a.北海道地方会

第21回 会長 高後 裕

平成13年7月14日 於：旭川医科大学医学部看護学科講義室(旭川市)

第22回 会長 宮坂和男

平成14年3月9日 於：北海道大学医学部臨床大講堂(札幌市)

b.東北地方会

第22回 会長 林 仁宇

平成13年9月23日 於：東北大学医学部良陵会館(仙台市)

第23回 会長 棚橋善克

平成14年3月17日 於：東北大学医学部良陵会館(仙台市)

c.関東甲信越地方会

第13回 会長 税所宏光

平成13年10月12日～13日 於：砂防会館(千代田区)

d.中部地方会

第16回 会長 改井 修

平成13年7月15日 於：名古屋国際会議場(名古屋市)

e.関西地方会

第22回 会長 木原康樹

平成13年9月1日 於：国立京都国際会議場(京都市)

第23回 会長 工藤正俊

平成14年1月26日 於：大阪国際会議場(大阪市)

f.中国地方会

第37回 会長 村尾文規

平成13年9月8日 於：広島医師会館(広島市)

g.四国地方会

第11回 会長 久 直史

平成13年11月10日 於：高知県民文化ホール(高知市)

h.九州地方会

第11回 会長 鄭 忠和

平成13年9月16日 於：鹿児島市町村自治会館(鹿児島市)

.超音波専門医・検査士セミナー

第19回超音波専門医・検査士セミナーを開催する。

平成13年5月19日 於：東京ビッグサイト(東京都)

.各種委員会等

1.企画委員会

会長より諮問される案件については慎重に審議し、早急に答申するとともに、超音波医学について将来的視野で検討し、

- 委員会独自の提言を行う。
2. 機器及び安全に関する委員会
 - a. 「超音波の安全性」についての調査，啓蒙活動を行う。
 - b. DICOM規格に関する超音波画像の運用等について，さらに詳しく検討する。
 3. 編集委員会

「超音波医学」(和文誌)第28巻3号から7号と第29巻1号から2号，及び「Journal of Medical Ultrasonics」(英文誌)第28巻 Summer号・Autumn号・Winter号と第29巻Spring号までの計11号を発行する。
 4. 用語・診断基準委員会
 - a. 医用超音波用語集の改訂について検討する。
 - 1) 各領域の小委員会からの案，及び一般会員からの意見を整理し，他学会との調整を行う。
 - 2) 新しい用語の内容を審議し，改訂版(案)を作製する。
 - 3) 用語改訂(案)を学会誌に公示する。
 - 4) 医用超音波用語集(改訂版)を発行する。
 - b. 超音波診断基準を作製する。
 - 1) 「超音波胎児計測の標準化と日本人の基準値」を学会誌に公示する。
 - 2) 「胆嚢癌の超音波診断基準」最終版を作製する。
 - 3) 「縦隔腫瘍の超音波診断基準」最終案を作製する。
 - 4) 「乳癌・甲状腺疾患の超音波診断基準」の検討及び審議を行う。
 - 5) 「循環器疾患の超音波診断基準」の検討及び審議を行う。
 5. 保険委員会
 - a. 外保連及び内保連へ診療報酬点数改定，新規適用要望書を提出する。
 - b. 他学会及び関連学会との情報交換を行う。
 6. 国際交流委員会
 - a. 社団法人日本超音波医学会奨学制度(JSUMFellowship)関係

「社団法人日本超音波医学会奨学制度実施要領」に準拠して，下記の活動を行う。

 - 1) 2001年度超音波Fellowship研修生を公募し，選考の上，研修を実施する。
 - 2) 今後の検討課題について，委員会を開催し検討する。
 - b. 世界超音波医学学術連合(WFUMB)関係

2003年にモンリオール(カナダ)にて開催される第10回WFUMB大会に学術，広報などの面で協力する。
 - c. アジア超音波医学学術連合(AFSUMB)関係
 - 1) 2001年にクワラルンプール(マレーシア)にて開催される第6回AFSUMB大会に学術，広報などの面で協力する。
 - 2) WFUMBからの要請による，本邦におけるCenter of Excellenceの設置を行う。
 7. 教育委員会

学会内外において超音波医学の卒前・卒後教育が適切に行われるよう，また会員あるいは初心者を含む非会員の資質維持や啓蒙に役立つ適切な研修の機会を提供するため，以下の事業を行う。

 - 1) 超音波専門医・検査士セミナーの実施(年度内1回)
 - 2) 地方会での超音波診断法講習会の実施に関わる指針の作成
 - 3) 卒前・卒後教育カリキュラムの在り方の検討と関係諸方面への働きかけ
 8. 超音波専門医制度委員会
 - a. 第11回超音波専門医認定試験を実施し，合格者の登録を行った上で認定証を交付する。
 - b. 平成13年度超音波指導医の認定，委嘱を行った上で認定証を交付する。
 - c. 平成13年度研修施設の指定を行い，認定証を交付する。
 - d. 第12回超音波専門医認定試験のための試験委員会を組織し，準備を進める。
 - e. 専門医制度に関する会員への啓蒙を積極的に行う。
 - f. 専門医制度に関する他学会との連携を深める。
 - g. 専門医認定制協議会(旧学会認定医制協議会)に出席する。
 - h. 本制度の改革・整備について審議する。
 9. 顕彰委員会
 - a. 第15回菊池賞(論文賞)の選考を行う。
 - b. 第3回特別学会賞の選考を行う。
 - c. 第2回奨励賞の選考を行う。
 - d. 第1回技術賞の選考を行う。
 10. 超音波検査士制度委員会
 - a. 第17回超音波検査士認定試験を実施する。
 - b. 2002年超音波検査士資格更新を実施する。
 - c. 超音波検査士制度の育成と増進を図る。
 11. 超音波工学フェロー認定審査委員会
 - a. 第3回超音波工学フェローの認定審査を行い，適格と判定した者を理事会の議を経て認定し，希望者には認定証を交付する。
 - b. 第4回超音波工学フェローの公募を行う。
 - c. 超音波工学フェロー資格更新に関する検討を行う。
 12. 研究開発促進委員会
 - a. 第1回研究開発班の設置申請についての審査を行い，研究開発班の設置を認可する。
 - b. 第2回研究開発班設置申請の公募を行い，応募書類を審査する。
 - c. 基礎技術研究会活動
- 代 表：秋山いわき

幹事：飯島尋子，石蔵文信，石原 謙，伊東正安，上田光宏，梅村晋一郎，大矢晃久，金井 浩，
神山直久，カノ スタート，工藤信樹，椎名 毅，炭 親良，竹内康人，立花克郎，谷口信行，
千原國宏，蜂屋弘之，原田烈光，山越芳樹

第1回 / 平成13年6月22日 於：奈良先端科学技術大学院大学(奈良県)

日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催

第2回 / 平成13年9月上旬 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)

第3回 / 平成13年10月中旬 於：湘南工科大学東京キャンパス(東京都)

電子情報通信学会超音波研究会及び日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催

第4回 / 平成13年12月頃 於：上智大学(東京都)

日本音響学会アコースティックイメージング調査研究委員会と共催

13. 会員資格審査委員会

会員の取扱規則に従い，会員資格に関する下記認定の審査を行う。

- 1) 新入会希望者及び退会希望者の審査
- 2) 除名該当者の審査
- 3) 会員種別変更希望者の審査
- 4) 休会希望者の審査

14. 学術集会関係

第7回AFSUMB大会(平成16年5月17日～22日)の諸準備を進める。

15. 地方会運営委員長会議

a. 地方会に関する事業の発展，充実及び円滑な運営の促進

- 1) 各地方会の事業が円滑に運営されるよう指導及び助言を行う。
- 2) 地方会交付金の算定を行う。
- 3) 各地方会から会計報告を受け，理事長に報告する。

b. 地方会運営委員長会議の開催

- 1) 各地方会運営委員長会議において相互の連絡を緊密に行う。
- 2) 地方会運営要領の浸透を図る。
- 3) 地方会のあり方，学術集会との棲み分け方を検討する。

c. 教育委員会から移行された超音波診断法講習会を各地方会学術集会に設けることについての検討を行う。

16. 規約関係

理事長の諮問を受けて，学会運営に関する諸規約の制定及び改正について逐次審議し，立案する。

17. インターネット関係

- a. 英語版のホームページのさらなる充実を図る。
- b. 学術集会，地方会，研究会及び各種委員会等の広報の充実を図る。
- c. その他

日本医学会関係

1. 第69回日本医学会定例評議員会に参加する。
2. 日本医学会シンポジウムに協力する。

日本学術会議関係

1. 第10回アジア学術会議に協力する。
2. 日本学術会議協力財団の実施するアジア学術交流促進事業に協力する。
3. 日本学術会議第7部医療技術開発学研究連絡委員会に参加する。

(資料5)

平成13年度収支予算(案)

収入の部

(単位：円)

科	目	平成12年度予算	平成13年度予算	摘要
基本財産運用収入	基本財産利息収入	250,000	150,000	
会費収入		159,663,000	159,200,000	
	正会員会費	(112,996,000)	(111,527,000)	@13,000 ^円 x 8,579 ^人 (9,225 ^人 x 0.93)
	準会員会費	(42,990,000)	(43,930,000)	@10,000 ^円 x 4,393 ^人 (4,624 ^人 x 0.95)
	学生会員会費	(77,000)	(63,000)	@3,500 ^円 x 18 ^人
	賛助会員会費	(3,600,000)	(3,680,000)	@40,000 ^円 x 92 ^名 (32 ^名)
入会金収入		1,340,000	1,290,000	正@2,000 ^円 x 350 ^人 , 準@1,500 ^円 x 390 ^人 , 学生@1,000 ^円 x 5 ^人
広告収入	学会誌	4,400,000	4,880,000	6 ^冊 x @40,000 x 12 ^冊 月, 2 ^冊 x @40,000 x 10 ^冊 月, 5 ^冊 x @40,000 x 6 ^冊 月
学術集会収入		72,000,000	58,650,000	
	参加費収入	(30,140,000)	(29,050,000)	第74回
	展示収入	(41,860,000)	(29,600,000)	
学会誌別刷収入		1,160,000	850,000	
WFUMB機関誌収入		2,300,000	2,200,000	@10,000 ^円 x 220 ^冊
専門医制度関係収入		3,995,000	5,160,000	
	認定試験	(2,600,000)	(2,160,000)	@20,000 ^円 x 60 ^人 ; @20,000 ^円 x 48 ^人
	更新認定料	(640,000)	(1,980,000)	@10,000 ^円 x 13 ^人 , @5,000 ^円 x 10 ^人
	資料頒布料	(755,000)	(1,020,000)	問題集@4,500 ^円 x 160 ^冊 , 研修手帳@3,000 ^円 x 100 ^冊
検査士制度関係収入		21,935,000	25,035,000	
	認定試験	(20,250,000)	(23,350,000)	@20,000 ^円 x 990 ^人 ; @5,000 ^円 x 710 ^人
	更新認定料	(1,485,000)	(1,485,000)	@5,000 ^円 x 297 ^人
	資料頒布料	(200,000)	(200,000)	ガイドライン@1,000 ^円 x 200 ^冊
教育関係収入		5,280,000	600,000	
	講習会収入	(4,680,000)	(0)	
	専門医・検査士セミナー	(600,000)	(600,000)	第19回 @2,000 ^円 x 300 ^人
雑収入		3,500,000	2,800,000	
受取利息収入		800,000	800,000	
特定預金取崩収入		0	1,000,000	
	選挙関係積立預金取崩収入	(0)	(1,000,000)	
当期収入合計		276,623,000	262,615,000	
前期繰越収支差額				
収入合計				

支出の部

(単位：円)

科 目		平成12年度予算	平成13年度予算	摘 要
事業費	学会誌経費	71,690,000	67,050,000	
	出版費	(44,850,000)	(39,450,000)	
	発送経費	(23,640,000)	(20,000,000)	
	編集委員会費	(1,300,000)	(1,800,000)	
	英文校正費	(1,300,000)	(5,000,000)	英文誌発行(4冊/年)に伴う翻訳料を含む
	査読通信費	(600,000)	(800,000)	
	国際交流関係費	7,340,000	6,840,000	
	ワールドワイド奨学金	(3,600,000)	(3,600,000)	@200,000 ^円 /月x3 ^人 x6 ^{ヶ月}
	国際交流委員会費	(300,000)	(200,000)	
	AFSUMB分担金	(3,440,000)	(3,040,000)	@3 ^冊 x110. ⁰⁰ ^円 /部/\$9,225 ^{ドル}
	WFUMB機関誌関係費	2,260,000	2,600,000	機関誌 @90 ^円 /年x220 ^冊 x110. ⁰⁰ ^円 /部=2,178,000 発送郵便代 290,000 ^円 /年 封筒・運賃等 132,000 ^円 /年
	学術集会経費	72,590,000	59,000,000	
	学術集会経費	(72,250,000)	(58,900,000)	第74回 58,650,000 ^円 ,事務局旅費他 250,000 ^円
	学術集会会議費	(340,000)	(100,000)	企画 400,000 ^円 ,機器・安全 2,000,000 ^円
	学術集会補助金	2,000,000	2,000,000	保険 460,000 ^円 ,用語・診断 1,000,000 ^円
	委員会等関係費	5,920,000	5,270,000	規約 50,000 ^円 ,インターネット 960,000 ^円
	地方会関係費	14,000,000	13,840,000	工学フェロ- 400,000 ^円
	研究会関係費	700,000	0	「基礎技術研究会」は研究開発促進委員会に組入
	専門医制度関係費	14,320,000	3,800,000	
	認定費	(3,190,000)	(2,320,000)	
	専門医制度委員会費	(8,830,000)	(1,480,000)	
	領布資料印刷費	(2,300,000)	(0)	
	検査士制度関係費	10,870,000	16,300,000	
認定費	(9,520,000)	(11,750,000)	問題集作成費 2,500,000 ^円 を含む	
検査士制度委員会費	(1,200,000)	(4,400,000)	超音波医学研修ガイドライン	
領布資料印刷費	(150,000)	(150,000)		
教育関係費	7,050,000	1,100,000		
講習会経費	(5,950,000)	(0)	地方会に組入	
専門医・検査士セミナー	(410,000)	(410,000)	第19回	
教育委員会費	(590,000)	(590,000)		
生涯教育費	(100,000)	(100,000)		
顕彰関係費	4,800,000	6,000,000	特別学会賞,菊池賞(論文賞),奨励賞,技術賞	
研究開発促進関係費		12,300,000	個人研究,プロジェクト研究	
研究助成金		(10,000,000)		
研究開発促進委員会費		(1,600,000)		
基礎技術研究会費		(700,000)		
事業費計		213,540,000	196,100,000	
事務費	人件費	30,890,000	32,485,000	1名増員
	会計顧問料	500,000	500,000	
	福利厚生費	650,000	710,000	
	法定福利費	3,120,000	3,800,000	
	職員交通費	1,490,000	1,510,000	
	事務所賃借料	8,140,000	8,140,000	
	事務用機器賃借料	620,000	630,000	
	備品費	500,000	500,000	
	文具消耗品費	700,000	700,000	
	光熱水料	750,000	750,000	
	事務OA化費	2,160,000	1,600,000	
	会議費	3,200,000	3,200,000	
	印刷費	1,750,000	1,690,000	
	通信費	4,000,000	4,000,000	
	公租公課	1,320,000	1,250,000	
	雑費	700,000	700,000	
	払込手数料	1,340,000	1,300,000	
選挙関係費	100,000	2,000,000		
事務費計		61,930,000	65,465,000	
特定預金支出	退職給与引当預金支出	653,000	550,000	
予備費		500,000	500,000	
当期支出合計		276,623,000	262,615,000	
当期収支差額				
次期繰越収支差額				

(資料6)

定 款 変 更 の 事 由

1. 平成12年4月1日から施行された「民法の一部を改正する法律」(平成11年12月8日法律第149号～法律第152号)(いわゆる成年者のための成年後見制度に関する改正民法，以下「改正法」という。)の規定により，「禁治産・準禁治産」の用語が廃止された。
このことにより，民法第1編総則・第1章第2節「能力」の第7条から第20条について全条文の改正が行われた。従って，定款第9条第二号は，改正法(保護を目的とする)の趣旨に基づき，削除することとする。

本件に関しては，平成13年5月19日から21日迄開催される第74回学術集會会期中に開かれる平成13年度総会に諮り，議決後，文部科学大臣に申請し，認可のあった日から施行される。

(資料7)

除 名 者

(平成13年3月31日現在該当者)

368名

内訳 正 会 員 278名(うち在外会員2名)

準 会 員 88名

学生会員 2名

賛助会員 0社

(資料8)

名 誉 会 員 推 薦

本学会名誉会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. マツ オ ヒロ ヒデ
松尾裕英氏

功 労 会 員 推 薦

本学会功労会員規則第4条に照らし、以下の方を推薦する。

1. ホ ガ キ マ サ ノ ブ
穂垣正暢氏
2. タ ム ラ コ ウ ジ
田村康二氏

第3回特別学会賞

町井 潔(元 東邦大学教授)

第15回菊池賞(論文賞)

基礎領域

Study of the Mechanisms of Drug Excitation in Sonodynamic Therapy: Direct Measurement of the Acoustic Cavitation-Induced Luminescence of Photosensitizers27(1)
高橋 昇 上之原広司 佐々木啓吾 吉本高志

循環器領域

インスリン抵抗性患者における冠微小循環障害の評価：経胸壁ドプラ心エコー図法を用いた冠予備能による検討27(3)
平尾健一 水重克文 近藤 功 高木雄一郎 辻 哲平 千田彰一 松尾裕英

The Difference Between the Right and Left Pulmonary Veins27(9)
板東完治 福田信夫 篠原尚典 武市直樹 添木 武 田中英治 田村禎通

腹部領域

パワードプラ法による胆嚢静脈灌流様式の検討27(1)
刑部 恵介 堀口祐爾 今井英夫 坂本宏司 鈴木智博 久保裕史 上松正尚 竹内文康
中村祐子 林 隆男 浅野正裕 西川 徹 久志有子 中野 浩

超音波ドプラ法, B-flow, USangiographyでとらえられた肝内肝動脈走行に関する新知見：門脈流に対する肝動脈の中枢側分岐性について27(10)
栃尾人司 岩崎信広 中村仁美 太田圭子 曾我登志子 西馬信一 福永豊和 岡部純弘
櫻田博史 平佐昌弘 伊吹康良 藤本敏明 森本義人 工藤正俊 富田周介 小西 豊
織野 彬雄

第1回技術賞

リアルタイムWave Intensity計測システム
原田烈光 菅原基晃 仁木清美

Flash Echo / Monitoring Mode
嶺 喜隆 神山直久 小柳正道 川岸哲也 後藤義徳 貞光俊 大塚紀昭 志岐栄一
黒崎 樹

Vol.モード技術を搭載した超音波診断装置
望月 剛 赤羽睦弘 山下優子 近藤祐司 斎藤嘉一 河西千廣

【顕彰委員会】

委員長

菅原基晃

副委員長

里見元義

委員

(基礎) 秋山いづき 椎名 毅 渡辺五朗
(消化器) 秋本 伸 齊藤明子 吉田 清
(循環器) 高沢 謙二 竹中 豊彦
(産婦人科) 上妻 志郎 宮崎 昌平
(泌尿器) 齊藤 雅人 中村 信行
(総合) 小西 豊 谷口 信行

以上16名